

# 職務経歴書

えませい さぶろう  
SE 三郎

2011年1月7日現在

## 要約

大学卒業後、システムインテグレーターである日本 XX システム株式会社へ入社。主に金融系のシステム開発に従事し、設計・プログラミング・テスト工程を担当しました。その後、さらに専門的なシステム開発ができる 株式会社に転職、直近では小規模ではありますが証券市場データ配信システムの開発をリーダーとして担当。そのプロジェクトでは、プロジェクトリーダーとして一からシステムを設計しました。

今後はこの経験を活かし、さらに大きな規模で顧客の顔が見えるシステム開発を行っていきたいと考えています。

## 職務経歴概略

期間	勤務会社	所属/部門/役職
2011年1月 ↑(2年9ヵ月) 2008年4月	・株式会社 XX ・業務内容:金融系ソフトウェア開発 ・資本金:XX 億 年商:XX 億 従業員数:XX 名	正社員 システム開発部 チームリーダー
2008年4月 ↑(5年0ヵ月) 2003年4月	・日本 XX 株式会社 ・業務内容:システムインテグレーター ・資本金:XX 億 年商:XX 億 従業員数:XX 名	正社員 ソフトウェア開発部 開発部員

## 業務経験

期間	プロジェクト内容	OS/言語等	役割/規模/担当
株式会社 XX			
2011年1月 ↑(1年3ヵ月) 2009年10月	・XX 証券会社 市場データ配信システムの開発 想定ユーザー数 30 人 ・ここにシステムの具体的内容を書く	AIX, Windows Sybase Java, C Eclipse, MQ	リーダー 約 2 名 (予算 2000 万円) 要件定義-基本設計-詳細設計-開発-テスト
2009年10月 ↑(1年6ヵ月) 2008年4月	・XX 銀行 顧客管理システムの開発 想定ユーザー数 100 人 ・ここにシステムの具体的内容を書く ・サブリーダーとしてリーダーを補佐。新人プログラマの育成も担当	Solaris Sybase Java WebSphere, Eclipse	サブリーダー 約 8 名 (予算 8000 万円) 基本設計-詳細設計-開発-テスト
日本 XX システム株式会社			
2008年4月 ↑(1年4ヵ月) 2006年12月	・XX 信用金庫 営業管理システムの開発 想定ユーザー数 5000 人 ・ここにシステムの具体的内容を書く ・大規模システムに基本設計から携わる	Linux Oracle Java(JSP) Struts, Eclipse	SE 約 7 名 (予算 7000 万円) 基本設計-詳細設計-開発-テスト

期間	プロジェクト内容	OS/言語等	役割/規模/担当
2006年12月 ↑(2年6ヵ月) 2004年6月	・XX 保険会社 資金管理システムの開発 想定 ユーザー数 200 人 ・ここにシステムの具体的内容を書く	Solaris Oracle Java(JSP) Seasar2, NetBeans	プログラマ 約 6 名 (予算 4000 万円) 詳細設計-開発-テスト
2004年6月 ↑(10ヵ月) 2003年8月	・社内向け WebMail システム 想定ユーザー数 300 人 ・研修も兼ね自社内のシステム開発に携わる ・ドキュメントの作成	Linux MySQL JavaScript,PHP Eclipse	プログラマ 約 3 名 (予算 1200 万円) 詳細設計-開発-テスト

## 使用経験のある環境・言語等

OS Solaris, AIX, RHEL,(業務使用可能レベル)

言語 Java, PHP, JavaScript(以上業務使用可能レベル), C, Perl, Ruby

DBMS Sybase, Oracle,(以上業務使用可能レベル) MySQL

ツール等 Eclipse, Struts(以上業務使用可能レベル) NetBeans, Seasar2

## 資格/語学等

取得年月	資格内容等
20XX年XX月	基本情報技術者試験
20XX年XX月	TOEIC 685 英語の読み書きに支障なし
20XX年XX月	SJC-P 1.4 SunJava 認定試験合格

## 自己PR

技術習得に対する意欲が高い 最新の技術動向を常に調査し、基本的には独学でプログラム言語を習得してきました。業務上求められるプログラム言語や技術があった場合、これまで利用したことがないものであっても、すばやくキャッチアップし、業務を遂行することができます。Java に関しても、SJC-P 1.4 という資格取得を通し勉強しながら概要を把握し、業務へ活用してきました。

金融業界に強み これまでの業務で銀行、証券と金融系のシステムを開発してきて、金融業界のおおよその仕事の流れを把握し顧客の問題を解決できるようなシステムを設計できる知識蓄えました。今後はこの知識を生かして、より高度で専門的なシステムを顧客に提案し、設計・開発ができると考えています。

以上。